



令和8年2月1日

らいかい恵子 議員便り 287号

合志市市議会議員 来海恵子 合志市幾久富 1642-38 ☎ 090-9655-1143

3月8日告示・15日投開票の市長選挙のため、第1回定例会が1月29日から2月25日迄開かれます。また、衆議院選挙が1月27日告示・2月8日投開票と何かと慌ただしい2月です。私は節分の豆まき、自分に負けそうになる弱虫を追い払います。みなさんは、何を追い払いますか？

来海は、議員便りを毎月一人で8,000枚配っています。



**限られた予算の中でも
市民のためなら！**

1月13日、臨時会が開かれ、11億100万円を追加し、総額332億6,606万円とする25年度一般会計補正予算を全会一致で可決しました。



物価高騰対策

*市民1人当たり1万円の商品券を配布・・・7億3,370万6千円

重点支援地方交付金(令和7年度国補正予算)交付限度額:6億5,921万9千円

物価高騰の影響を受けている全世帯に対し、合志市登録店のみで使用可能な商品券を配布することで、生活支援と市内消費の下支えを同時に図ります。

1万円×65,500人=7億3,370万6千円(事務経費等含む)

★差額の7,448万7千円は、市の一般財源です。

対象:令和8年2月1日現在、本市の住民基本台帳に登録されている人

商品券:1,000円の10枚綴りで3月下旬から順次郵送

使用期間:令和8年4月1日から令和8年7月31日まで

利用可能店舗:後日一覧表を公開し、広報合志4月号に掲載予定

★DV避難者の方へ・・・配偶者やその他親族等の暴力等を理由に避難している方で、

避難先へ商品券の送付を希望される方は、別途手続きが必要です。下記担当課へ
ご相談ください。原則、令和8年2月2日(月曜日)までに申出書および当該避難
を証明する書類の提出が必要です。商工振興課 ☎096-248-1115

問:なんで商品券なの?

答:全ての市民に平等に行き渡るようにと、商品券配布になりました。

問:商品券はいつ届くの?

答:3月末配布予定ですが、議会からもできるだけ早くと要望しています。

* 子ども1人当たり現金2万円を支給・・・3億1,199万円

物価高対応子育て応援手当(交付金10/10)

児童手当支給対象世帯に対し、子ども1人当たり2万円の支給

2万円×15,300人=3億1,199万円(事務経費等含む)

対象:平成19年4月2日生まれから令和8年3月31日に生まれた子ども

* 学校給食費負担軽減事業・・・市単独事業

★4月から、小学校の給食は無償になります。

現在は、小学生は保護者が年11回(夏休み分除く)、月に
4,650円給食費を払っていますが、実際は5,650円かかり、
市が必要食材費として毎月1,000円負担しています。



国が4月から小学生の給食費5,200円補助しますが、1人当たり450円足りません。ま
た、中学生は保護者が年11回(夏休み分除く)、月に5,300円給食費を払って
いますが、実際は6,440円かかり、その差額1,140円が足りません。食品価格等の物価高に
伴う食材費の影響が、保護者が負担している学校給食会計へ補助金(小学生450円・
中学生1140円)を出すことで、子育て世代への負担軽減になります。

★5,530万3千円(事務経費等含む)・・・市単独事業

問:中学生の給食は、無償化にならないの?

答:気持ちは山々ですが、国の動向を見ています。

問:給食の質は保証されるの?

答:国の補助は5,200円で、足りない食材費を市が補助します。

合併して20年

平成18年2月27日、旧合志町と旧西合志町が合併して合志市が誕生し、合併から20年になります。今年の成人式は、合併時に生まれた人たちで感慨深いものがありました。

おかげさまで、人口も52,000人から65,405人(12月末)で13,405人増えました。人口減少の中、全国でも合併して人口が増えた市町村は少なく、これもひとえに荒木市長を先頭に職員・議会・市民が協力して良か合志市目指し頑張っているからだに感謝しています。人口が増える＝税収が増えることで、ありがたいです。

合志市は、合併してからほとんど大きな箱物は作っていません。主な建物は、児童生徒数増で楓の森小中学校、旧合志町の給食センター、耐震化していなくて立て替えた野々島市民センターや黒石市民センターなどです。また、小中学校エアコン設置も県内で一番早かったです。

12月20日県道大津植木線「辻久保バイパス」が開通し、これで全線開通しました。



平成11年に旧合志町と旧西合志町で期成会を立ち上げてから30年かかりました。

荒木市長が、合併時の県との約束「新市建設計画」にこだわる訳が理解できます。関わっていただいた全てのみなさまに、心から感謝申し上げます。熊本スマートインターチェンジや植木に行くのが、とても早くて便利になりました。ぜひ、ご利用ください。

県道 大津植木線 「辻久保バイパス」

令和7年12月20日 開通



全国では

去年、ショックなことがありました。政府が旗を振った「平成の大合併」。収入が実質的にかさ上げされる普通交付税(合併特例債)の優遇措置期間が終わり、財政悪化に直面する自治体が全国で散見され、私の故郷愛媛県新居浜市の隣の西予市もその一つです。公共施設の統廃合などを盛り込んだ「財政危機脱却プラン」を策定し、さらに給与カットも

打ち出しましたが、市民からは厳しい声が上がっているそうです。平成 30 年度以降、自治体の貯金にあたる財政調整基金を毎年度 8 億円以上取り崩し、赤字を補填(ほてん)。残高は平成 28 年度末の 48 億 3 千万円をピークに、今年度当初には 2 億 8 千万円に目減り。基金が底をつくことは、災害などいざという時に使える財源がないことを意味し、市民生活に直結します。これは西予市だけでなく、全国で見受けられます。

手堅い財政運営！

荒木市長は財政運営にはとても手堅く、「子どもたちに借金を残せない！」と常々仰っています。また、よく一般質問で「したいのは山々ですが、ない袖は振れません！」と答弁されます。あれもこれもと言っていたら、限られた予算で足りるはずがありません。今の時代は、あれかこれか選択の時代だと思います。多方面な事柄を官民連携で事業をすすめられ、民間の力を上手に取り入れられています。「アンビー熊本」や「ゆめモール合志」は民で、「御代志土地区画整理事業」で御代志駅周辺を官民連携で開発しています。また、企業誘致も頑張っています。

母が、「無いようで有るのが金、有るようで無いのが金！」とよく言っていました。また、「儉約だけではだめ。いざという時は、生きた金の使い方をしなさい！」と。正に、荒木市長がそれだと思います。儉約するところは儉約し、財政調整基金をコツコツ貯めていざという時に備える。また、今回のように市民が物価高騰で苦しんでいるのを見られて、国の補助金だけで足りなければ市の予算から足して補助する。これぞ、生きた金の使い道だと思うのは私一人でしょうか。

「1万円くらいじゃ、何の足しにもならん！」・「なんで、合志市は中学生まで給食無償化にしないの？」と言われる方もいらっしゃいます。「足るを知る者は富む」(満足することを心得ている者は、たとえ生活が貧しくても心は豊かであるということ)という言葉があります。全ての方に平等に行き渡るようにと商品券を配布し、小学校の給食も、国の補助金 5,200 円で足りない金額は保護者に負担させないで市単独で補助し全額無償化。議会にも全員協議会で説明があり、これからも市民の幸せのために行政と議会が協力して頑張ります。

〒861-1112 合志市幾久富 1642-38 来海恵子
Mail rai-ok@nifty.com <http://raikaikeiko.info/>



らいかい恵子

検索